

家族と宗教

——価値志向の視座から——*

真 鍋 一 史**

Wolfgang Jagodzinski***

I はじめに——問題の所在——

現代社会論のテーマの一つとして、家族の問題が取りあげられるようになって、すでに久しい。その場合、しばしば「家族の崩壊」ということに焦点が当てられてきた。「家族の崩壊」がどう定義され、どう測定されてきたかについてはしばらく措くとして、このような現象をめぐるさまざまな「事実(fact)の報告」と「言説(discourse)の展開」が論壇を賑わしてきたことは否定できない。このような議論は決して日本だけの現象ではない。むしろ西欧社会においては、この問題はある意味において、より深刻な意味合いを持っているといえるかもしれない。それは、西欧社会においては宗教が深く人びとの心の奥にまで浸透するとともに、広く人びとの日常生活の隅々までを規定してきたが、それがいわゆる「世俗化(secularization)の波」とともに、大きく変化することになってきたからである。つまりこのようなコンテキストにおいては、家族のあり方をめぐる価値観や倫理観もそのルーツは宗教にあった(と考えられてきた)のであり、そうだとするならば、少なくとも論理的には、宗教離れの「世俗化」の方向とともに、そのような価値観がまさに根底から揺さぶられることになるからにはほかならない。こうして「家族と宗教」というテーマは、とりわけ西欧社会においてはきわめてアクチュアルな問題となっているのである。

さて、以上においては、「世俗化」という問題に焦点を合わせたが、それは単に西欧キリスト教

社会だけに該当するものではない。たとえば、ここでの議論は、ユダヤ教社会イスラエルにもまったく同じように当てはまる。この領域におけるすぐれた理論的・実証的研究としてE. KatzとM. GurevitchによるSecularization of Leisure, Faber & Faber, 1976をあげることに異論を唱える者はいないであろう。

ただ、ユダヤ教社会の問題については、別の機会に譲り、ここでは「家族と宗教」の関係についての理論的・実証的な検討をとくにドイツ社会に限定して進めていきたい。そしてその検討に際しては単にドイツ社会の現状(歴史も含めて)を記述するというのではなく、それを日本社会と比較するという視座をとる。それは、ドイツ社会を日本社会と比較するということで、その問題の所在がより鮮明になると考えるからにはほかならない。真鍋とJagodzinskiの仮説からするならば、日本の宗教は、一方においてその宗教性がことさら強く意識されることが少なく、また他方において宗教が人びとの日常生活の価値観や倫理観の直接のルーツになることが少なかったという意味で、日本はまさにドイツの場合とは対照的な事例といえるからである。

さて、以下の議論は真鍋が関西学院大学特別研究期間の制度を活用し、2000年度春学期ドイツ・ボン大学に客員教授として滞在する機会が与えられた際に、ケルン大学教授・実証的社会科学の中央データ・アーカイヴ(Central Archive for Empirical Social Research: ZA) 所長・応用社会調査研究所(Institute for Applied Social Research: IFAS) 所長のWolfgang Jagodzinski氏と実施した

*キーワード：宗教、道徳にかかわる価値観、家族にかかわる価値観

**関西学院大学社会学部教授

***ドイツ・ケルン大学社会学部教授、実証的社会科学のための中央データ・アーカイヴ所長、応用社会調査研究所所長

共同研究の成果の一部である。

II 宗教現象

Jagodzinski は、まずドイツと日本で「宗教」は大きく異なるので、同じ「宗教」という用語を使いながら、それは同じものとして議論することができるのであろうかという問題を提起する。真鍋の考え方からするならば、この問題はいうまでもなく、何も「宗教」だけに限ったことではない。比較ということについては、それは異なるものを比べるから意味があるのか、それとも異なるものを比べるなどということはそもそも意味をなさないことなのか、が問われ続けてきた。この議論はいわゆる「不可知論」につながる恐れを含んでいる。われわれの立場はつぎの点にある。それは、社会科学における比較の意味は何かという問いである。比較は「目的」でなく、「手段」である。目的は、どこまでもある社会「現象」を広いコンテクストと深いダイメンジョンにおいて分析し、解釈し、理解するということである。そのため比較という手段が用いられるのである。

Jagodzinski は、ドイツと日本の宗教について以下のような点を指摘する。

1. ドイツの宗教が排他的 (exclusive) であるのに対して、日本の宗教は排他的でない (non-exclusive)。具体的にいえば、ドイツで宗教といえば、それは「どの宗教にも属さない (belong to no religion)」か、それとも「どれか一つの宗教に属する (belong to only one religion)」か、のいずれかの選択ということになる。ところが日本では多くの場合、「一人の人間 (または家族) が同時あるいは交互に複数の宗教の儀式に参加する」(『対訳 日本事典』講談社インターナショナル、1998年、p. 481)。

2. ドイツの宗教がカトリック教会とプロテスタント教会の二つに高度に組織化されている (organized) のに対して、日本の宗教はそれほど組織化されておらず、多くの小さな宗教団体 (religious organizations) に分かれている (石井研士『データブック現代日本人の宗教』新曜社、1997年、pp. 101-122)。

3. ドイツの宗教は実証科学的な意味で予測可

能性 (predictable) が高い。たとえば、以下のような先行研究の諸知見がそれを示している。

①「カトリック」「プロテスタント」「無宗派 (religiously unaffiliated group)」に区別するならば——この三つのグループの区別について、ここでは denomination という用語を用いる——、カトリックはプロテスタントよりも、そしてプロテスタントは無宗派よりも、それぞれ教会への関与 (church involvement)、たとえば礼拝 (religious service) への出席 (attendance) の度合いなどが高い。

②教会への出席 (church attendance) は、宗教上の信仰 (religious belief) の精度の高い予測指標 (predictor) といえる。人は教会への出席の頻度が高くなるほど、「神 (God)」「罪 (sin)」「天国 (heaven)」「地獄 (hell)」などを信じる度合いが高くなる。じつは「宗教的信仰」と「宗教的実践 (religious practice)」が、「宗教心 (religiosity)」あるいは少なくとも「教会宗教心 (church religiosity)」と呼ばれる潜在的次元 (a latent dimension) の指標 (indicators) であると考えられる理由がここにある。具体的にいえば、潜在的次元のレベルが高くなればなるほど、宗教的信仰と宗教的実践のレベルが高くなるということである。

③宗教心は多くの——すべてでないにしても——「道徳的態度 (moral attitude)」のすぐれた予測指標である。たとえば、宗教的な人ほど、性的な事柄 (sexual matter) に関して放縦な態度はとらない (less permissive) ということである。

④宗教心は中絶 (abortion) や離婚 (divorce) などの「家族にかかわる価値観」との相関関係を示している。

⑤宗教心は「社会資本 (social capital)」や「社会行動 (social behavior)」とも関連している。たとえば、宗教的な人は社会により強く統合されており、子供の数が多く、制度や人への信頼の程度が高く、ボランティア活動への参加の頻度が高く、幸福感のレベルも高い。

⑥宗教的な人ほど、キリスト教政党——たとえば CDU、CSU など——に投票する傾向がある。

さて、以上のような諸知見を詳細に検討するならば、ドイツの宗教現象については、因子分析的

なアイデアを援用して、さまざまな個別の現象のなかに一つの共通の要素 (a factor) といったものを見ることができるといえるのである (G. E. Lenski, *The Religious Factor: A Sociological Study of Religion's Impact on Politics, Economics and Family Life*, Erschienen bei Doubleday and Company, 1961)。

以上のような Jagodzinski の議論に対する真鍋のコメントはつぎのとおりである。まず、1と2についてはしばらく措くとして、3についてはドイツにおける先行研究の諸知見が整理されるにとどまっているという点である。日本の諸知見と比較することで、はじめてドイツの宗教現象の予測可能性の高さが主張できることになる。真鍋の考え方からするならば、両国の先行研究の諸知見を比較するということがまさに操作的な実証研究の出発点になる。そこに見られる類似点あるいは相異点がつぎの分析の段階への確実な手がかりとなるのである。ここで仮説的な議論を進めるならば、それはドイツの予測可能性の高さ——いうまでもなく実証科学的な観察可能性という点からしての——に対する、日本の予測可能性の低さということになるであろう。しかし、ここで重要な点は、それはドイツ「的」な方法での操作化による予測可能性の低さということであって、日本「的」な方法での操作化が開発されるならば、それによって日本でもその予測可能性は高まるということも当然ありうるということである。むしろ、そのような日本「的」な方法——具体的にいえば、「信頼性 (reliability)」と「妥当性 (validity)」の点からして納得のいく宗教現象の観察の指標——の開発こそが、今回のプロジェクトの最終目標といえるのである。

Ⅲ 宗教の道徳 (moral) への影響

道徳的な価値 (value) ・態度 (attitude) ・行動 (behavior) に対する宗教の影響 (influence, impact) といったことを実証科学的に観察する (observe) のための必要条件 (necessary conditions) としては何が考えられるであろうか。Jagodzinski はつぎのものをあげる。

1. 道徳的な規則 (moral rules) といったもの

が、宗教的信仰の体系 (system) の不可欠な部分となっていなければならない。宗教的物語・説話 (religious stories) が道徳的忠告 (moral advice) を含むものであるならば、宗教的に社会化された子供 (religiously socialized children) は、そうでない子供に比べて、道徳的な態度・行動が異なるはずである。いわゆる「世界宗教 (world religion)」といわれるものは、たとえば「聖書の十戒 (the ten commandments of the Bible)」や「儒教の五教 (the five basic moral rules of Confucianism)」——人の守るべき五つの教え：「父子親あり、君臣義あり、夫婦別あり、長幼序あり、朋友信あり」(『書経』) ——などのように、いずれもそのなかに道徳的な規則を含んでいる。

2. 操作的にいえば、道徳性 (morality) に対する宗教の影響というのは、宗教ごと、あるいは宗教の有無で、人びとが異なる道徳的な態度や信念 (beliefs) を示すという場合においてのみ観察可能なものとなる。異なる道徳的な態度や信念が示されない場合には、その影響を観察することは不可能である。そこで、ある社会ですでにいわれるコンセンサス (consensus) が形成されている問題 (の側面) については、宗教の影響を見ることがむつかしくなる。

ここでコンセンサス (合意形成) という現象について実証的に検討しようとするならば、つぎの二つのポイントが重要となる。

①たとえば、規範 (norm) というものを考えるにして、それを「一般的な規範 (general norms)」と「特殊な規範 (specific norms)」に区別するならば、コンセンサスは前者で高く、後者で低いという結果になるであろう。具体的な例をあげるならば、すべての世界宗教には「汝殺すなかれ (Thou shalt not kill)」という規範が含まれている。人びとは、一方でこの一般的な規範を支持するものの、他方で軍人が戦場で人を殺すことをその規範の例外として是認する。また「人の命はかけがえのないもの」としながらも、妊娠の「中絶」は容認する。

こうしてみると、道徳に対する宗教の影響という問題を分析するためには、「特殊な規範」の側面に目を向けなければならない。具体的にいえば、「生命の尊重」という問題でなく、「妊娠中

絶」という問題を、そして「平等」というテーマではなく、「家庭のなかでの男女の性役割」というテーマを取りあげなければならない。

②コンセンサスという概念が有効な概念となるためには、それが表明された (articulate) ものでなければならない。さらに単に外部に表明されたものというだけでなく、心から表明されたものでなければならない。沈黙のもたらすコンセンサス、あるいは心のなかとは裏腹の心にもないコンセンサスということでは、宗教との関係は測定が困難になる。因みに、この前者の側面は、いうまでもなく、E. Noelle-Neumann が「沈黙の螺旋理論」という用語によって見事に描き出した人間現象の真実である (池田謙一訳『沈黙の螺旋理論』、ブレーン社、1988年)。

3. ある宗教が特定の規範を持っており、人びとがその宗教に高度に統合されている (highly integrate) とするならば、人びとの道徳的態度は、当然その宗教の影響を受ける。しかし人びとがある宗教 (教会) に高度に統合されていなくても、その影響を受けるということがある。じつはドイツも含めて、ヨーロッパの多くの国ぐにがこの例に当てはまる。カトリックあるいはプロテスタントの教会は、いずれも地域的な独占 (regional monopolies) という形態で組織化されてきた。つまり、ある地域においては、すべての人びとが同一の教会に所属する。加えて、教会は独自の幼稚園、学校、大学、マス・メディア、労働組合、企業主協会などの設立にも乗り出す。こうして地域全体が教会を中心に一つの「閉じたシステム (closed system)」として構成される。このようなシステムは「宗教的柱石 (a religious pillar)」と呼ばれるが、こうした柱石化された (pillarized) 社会では、とくに教会があえて影響を行使するまでもなく、すでにしてその環境のすべてが同質的な規範によって統一されており、その社会の成員であるかぎり、その影響を免れるということはいえぬのである。

4. 宗教は社会に影響を与えるだけでなく、社会の側からも影響を受ける。宗教が社会のなかに深く統合されているとするならば、宗教はすでに社会の、とくに社会の支配的エリート層 (the ruling elite) の規範を広く取り入れていると考え

られる。そしてそれらの規範がいったん宗教のなかに取り入れられると、それは宗教という手段 (means) をとおして人びとの心のなかに広く植え付けられていく。具体的にいえば、これらの規範は「神の意思 (will)」であるとの宣言によって「神聖 (sacrosanct)」なものとなされ、その規範への不服従は神によって罰せられるところの重大な罪 (sin) であると見なされる。これは、宗教が、道徳の社会化 (moral socialization) の過程で、その影響力を最大に発揮する典型的な仕方であった。

さて、以上の Jagodzinski の議論に対して、ここではドイツと日本の比較に焦点を合わせた実証的研究のための準備作業として、つぎの点を指摘しておきたい。

1 については、宗教の影響という問題を実証的に捉えようとするならば、少なくともつぎの二点についての検討が必要となる。

①宗教に道徳的規則・忠告が含まれているかどうかの分析だけでなく——これはいわゆる「内容分析」 (content analysis) の方法で捉えられる——、人びとがそのことを認知しているかどうか、あるいは意識しているかどうかの分析が併せて必要となるであろう。なぜならば、とくに日本においては、宗教が求められる場合、「戒め」よりも「赦し」のほうがより強く意識されてきたと考えられるからである。仏教徒の従うべき戒律に比べて、「善人なをもて往生をとぐ、いはんや悪人をや」 (『歎異抄』) のほうが日本人の心をより強く惹きつけてきたというのが真鍋の仮説である。『Visual Human Life The 日本』にはつぎのような記述がある。「西方浄土におわします阿弥陀さまも常に人とおわします地藏さまも、つまりは免罪、贖罪の神であるといえないか。」 (講談社、1986年、p. 852)

②宗教に道徳的規則・忠告が含まれているかどうかに関しても、それが「直接的な形式」でか、それとも「間接的な形式」でかが問われなければならない。たとえば、和辻哲郎はつとに『竹取物語』に仏教の影響を認めているが、それは現世の権力——帝や皇族や兵隊によって象徴される——を超えた超自然界の存在——人間界のものでないかぐや姫とその帰っていく「月の世界」によって

象徴される——が示唆されている点において明らかであるという（和辻哲郎『日本精神史研究』岩波文庫、1992年）。そうだとするならば、この物語は人びとに間接的な形式で現世の権力への追従だけがすべてでないことを教えているといえないであろうか。

2についても、つぎの二点が指摘されよう。

①宗教の影響を捉えるためには、「一般的な規範」よりも「特殊的な規範」に目を向けるのが得策であるという提案に対しては、たしかにこの二つの側面の区別は、これまでの「態度構造論」の系譜に立つアイデアであり、きわめて有効なものといえる。しかし、それは前者の側面を捨て、後者の側面のみでよしとするにとどまらない。むしろ両者の乖離現象をどう指数化し、それと宗教意識との関連をどう測定するかというアイデアに発展させられてこそより有効なものとなるといわなければならない。それは、日本についていえば、この「特殊的な規範」についても、さらにいわば「特殊的事情への配慮」とでもいうべき装置——たとえば「中絶」についての「水子観音や水子地蔵」など——が考案されてきており、その場合はその「特殊的事情への配慮」の意識がすでにして「一般的な規範」をも規定していると考えられるからである。「たてまへはたてまへ」といういい方がなされるのはまさにこうしたコンテキストにおいてである。つまり、このような状況下においては、「一般的な規範意識」と「特殊的な規範意識」との乖離はじつはそれほど大きなものではない。こうして、この乖離現象の指数化がきわめて興味深い課題となるのである。

②沈黙のもたらすコンセンサス、あるいは心のなかとはいは裏腹のコンセンサスがある場合に、質問紙調査（questionnaire survey）という方法で宗教の影響を捉えることは困難になるという考え方に対して、真鍋の日本の場合についての仮説はやや異なる。それは、実際の日常生活のなかでの意見の表明（articulation）にくらべて、質問紙調査という人工的な装置をとおしたそれの方で人びとはより明確に——そしてその結果として、より分極化した——意見の表明を行うのではなからうかというものである。

3については、日本においても、ドイツと同じ

ように「柱石化（pillarization）」の現象が観察できるかどうかの検討が必要となる。この点に関しては、藤井正雄による宗派教団の地域分布の研究が注目される（『現代人の信仰構造』評論社、1974年、pp. 19-65）。この調査結果からするならば、日本においても宗派教団のかんりの偏在性・地域差が見られることがわかるが、しかしそれがドイツにおけるような柱石化の現象につながるものなのかどうかは明らかではない。その意味で、この調査もここでの問題関心に完全に答えるものとはいえない。広範な文献研究と独自の調査研究が要請されることになる。これはもう一つの新しいプロジェクトの提案といえよう。

4に関しては、ここでの Jagodzinski の命題は、日本の宗教現象についても提起されてきた事柄である。しかし問題は、宗教が特定の社会の、そしてとくにその社会の支配エリート層の規範のすべてを取り入れたのか、あるいはそこでも何らかの選択原理が働いていたのか、さらにそのメカニズムはどのようなものであったのか、ということである。このような分析を踏まえて、宗教と規範・道徳との関連をさらに探求していくという試みは、きわめて興味深い課題といえよう。

IV 宗教の家族への影響

1. 宗派教団（denomination）の影響

ドイツにおいては、少なくとも第二次大戦の終結までは、宗派教団がさまざまな道徳的規範に強い影響を与えていた。

16世紀の宗教改革（the reformation）の後、ドイツの宗教はプロテスタントとカトリックに分裂した。両者は30年におよぶ宗教戦争を続けたばかりでなく、いわゆる地域的な独占（regional monopolies）——具体的にいえば、プロテスタントあるいはカトリックのいずれかによって完全に支配（dominate）された地域（areas）——を確立していった。19世紀までは、被統治者（subordinates）は統治者（sovereign）の宗教を持たなければならないという規則（rule）が定められていた——したがって統治者がその宗教を別の宗教に変えたならば、被統治者も同じように宗教を変えなければならなかった——が、その結果として宗

教的に同質的な地域 (homogenous religious regions) といったものが形成されることになった。19世紀には、こうして宗教上の分割 (religious division) が安定したものとなった。たとえば、南ドイツとライン川以西の地方はカトリック、北ドイツと東ドイツはプロテスタントというのがそれである。これら二つの宗派教団がそれぞれの支配地域で独自に幼稚園、学校、大学、マス・メディア、労働組合、事業主協会を組織し、こうしてそれらの地域の人びとは宗教という点からして同質的な社会的世界 (a religiously homogeneous social world) に完全に組み込まれてしまうのである。すでに述べたように、このような閉鎖的なシステムが「宗教的柱石 (religious pillar)」と呼ばれるものにほかならない。

ドイツにおいては、カトリックはプロテスタントよりもさらに柱石化を進めた。プロテスタントとの対立・抗争の過程で、真にカトリック的な組織の「強固なネットワーク (a strong network of genuinely Catholic organizations)」を築きあげていった。この点は、E. Durkheim が「カトリックはプロテスタントよりも自殺率が低い」という有名な命題の定立にあたって、宗派教団と自殺率との関係の背後にある変数としてカトリックの「社会的結合」の高さに注目したことを想起させる (宮島喬訳『自殺論』、中央公論社、1968年)。

しかし、だからといってプロテスタントの地域に何の特徴も見られなかったというわけでは決してない。プロテスタントの地域もそれなりに同質的な文化、つまりいわゆる「プロテスタントの社会—道徳的環境 (Protestant socio-moral milieu)」を作りあげていった。

もっとも、以上のような状況も、ドイツが「流動社会 (mobile society)」へと移行していくにつれて、徐々に変化していった。西ドイツにおいては、この変化はとくに1950年代の終わり頃から顕著なものとなった。プロテスタントの教会は、「個人の良心 (the individual conscience)」を重視する伝統を継承してきたので、いわゆる社会の「道徳的な教え (moral teaching)」に影響を与えるということが少なかった。このような傾向は、多くのプロテスタントの教会離れが進むなかでさらに促進された。カトリック教会も、やや遅れて

同じような経緯をたどることになった。

東ヨーロッパにおいては、擬似宗教 (a quasi-religion) としての社会主義が、伝統的な宗教との対立を続けてきた。社会主義統一党 (SED) は家庭と学校における宗教的社会化 (religious socialization) をほとんど抑圧してしまった。こうして、東ドイツの人びとの教会離れが進行していった。しかしその結果は、宗教の道徳への影響の低下という点では、世俗化の進んだ西ドイツの場合と大きく異なるものとはいえないかもしれない。

以上から、宗派教団の道徳的規範に対する影響は、ドイツの東西において、同じように弱くなってきていると考えられるのである。

2. 宗教心 (religiosity) の影響

C. Glock と R. Stark は宗教心という概念をつぎの五つの次元 (dimensions) に区別した (C. Glock and R. Stark, *Religion and Society in Tension*, Rand McNally, 1965)。

- ①信仰 (belief)
- ②実践 (practice)
- ③知識 (knowledge)
- ④経験 (experience)
- ⑤道徳 (moral consequence of religions behavior)

以上のうち、「道徳」というのは、宗教的な行動をすると、それが道徳 (心) にどのような結果をもたらすかということで、他の次元とはまったく異なる側面といえるので、ここでは取りあげない。またこれまでの先行研究から「知識」と「経験」とに相関は見られないし、さらにこれらが「家族にかかわる価値観」に影響を与えるという予測も成り立たないので、この二つの次元も取りあげない。

こうして、以下の考察では「信仰」と「実践」の二つの次元のみを扱う。つまり、この二つの次元を宗教心の構成要素 (components) と考えるからである。これまでの先行研究から、これら二つの次元を捉える諸指標 (indicators) 間の相関は、西ヨーロッパにおいては高いものであることがわかっている (W. Jagodzinski と K. Dobbe-laere, *Religious and Ethical Pluralism*, in J. W. Van Deth and E. Scarbrough eds., *The Impact of*

Values, Oxford University Press, 1995)。

現在では、ドイツの二つの教会——つまりカトリック教会とプロテスタント教会——がそれぞれのメンバーのすべてに対して同じように影響を及ぼすということはなくなっている。書類上だけで教会に属している (affiliate themselves only on paper) 多くのキリスト教徒は、自分たちの教会の教え (teachings) にまったく意を介さない。このような状況のなかにあつて、宗教心というものは、人びとがそれぞれの教会の宗教的・道徳的な教義 (dogma) を支持し、それぞれの教会の司祭・牧師 (priests) の影響を受けているということの一つの明確な「しるし (indication)」であるといわなければならない。そこで、人は宗教心が強くなればなるほど、その宗教の道徳的規範 (moral norms) を支持するようになると考えられるのである。たとえば、ドイツのカトリック教会は、「結婚の神聖さ (sanctity of marriage)」 「夫婦の貞節 (marital fidelity)」 「中絶の否定 (inadmissibility of abortion)」 などの伝統的な家族の価値観をいつもきわめて強く強調してきた。こうしてカトリック教徒で宗教心の強い人たちは、宗教心という一つの連続体のちょうど反対の極にある人たち (those at the apposite end of the religiosity continuum)、つまり無宗派の人たち (the religiously unaffiliated) とは、これら家族の価値観に関して、かなり異質であると考えられるのである。

主に18世紀のフランス啓蒙主義運動以来、ヨーロッパの国々には、「不可知論者 (agnostics) や「無神論者 (atheists)」などの世俗的な人びとが多くなってきた。19世紀になって、さらに「物質主義者 (materialists)」や「共産主義者 (communists)」がそれに加わった。これらの「世界観 (world views)」や「擬似宗教 (quasi-religions)」によれば、宗教は人びとにとっての「迷信 (superstition)」あるいは「阿片 (opiate)」にすぎず、伝統的な家族のイメージも否定されるべきものであった。かれらはヒエラルヒカルな社会の秩序 (hierarchical order of society) は権威主義的な家族構造 (authoritarian family structure) を反映したものであり、逆に権威主義的な家族構造はヒエラルヒカルな社会秩序を反映したものである

と考えた。こうしてドイツ (とくに東ドイツ) においては、カトリック教徒と「無神論者・不可知論者」との差異はきわめて大きなものであり、プロテスタントはこの両者の中間のややカトリックよりのところに位置付けられるのである。

さて、以上において、Jagodozinski はいわゆる家族をめぐる価値観といったものに対する宗教の影響を分析するための枠組として、宗教という変数を「宗派教団」と「宗教心 (とくに信仰と実践)」に区別して、議論を進めてきた。では、このようなドイツと、いわゆる宗教的な背景と伝統をまったく異にする日本を、国際的に比較するという視座を取ろうとするならば、われわれはどのような概念的な装置を準備しておかなければならないのであろうか。

日本との比較を射程にいられた方法論的な提案については、すでに前のセクションでも述べたところであり、それと重複しない点についてのみ若干記しておきたい。

まず1の宗派教団の影響については、すでに触れたように、日本においてはそもそも宗教教団というものが必ずしも排他的な (either-or) 関係にあるわけではないという点を確認しておかなければならない。たとえば、家庭に「神棚」と「仏壇」の両方があるということはいうまでもなく、浄土真宗の檀家の人が同時に真言宗の八十八か所の巡礼に出るということも決して珍しいことではない。こうして、日本の場合は、宗派教団の違いということはそれほど意味を持つものとは思われない。むしろ、いわゆる「既成の宗派教団」と「新興の宗派教団」との比較が興味深い課題といえるが、この点についてはNHK世論調査部の「生活意識に関する国際比較調査」(1998年)では明確な区別がなされていない。

つぎに2の宗教心の影響については、日本におけるこれまでのさまざまな「宗教意識調査」の結果の比較検討から、以下のような知見が得られている。それは、『「信仰の有無」を問う質問に対しては、ほぼ三割の肯定的回答が示される。しかしながら、神や仏の存在を信じるかという質問になると『はい』と答える人の割合はかなり高くなる。さらに、『人間や自然を超えた何か大きなもの』といった、特定の対象にこだわらない宗教観

を尋ねると、肯定的回答率はいっそう高くなることがわかっている」(石井研士『データブック現代日本人の宗教』新曜社、1997年、p. 6) ということである。こうして、日本人の宗教心を捉えるインディケーターズの開発ということが、この研究領域における最も重要な今後の課題となってくるのである。真鍋は、現在、Jagodzinski 教授とともに、上述のNHK調査の質問諸項目 (country specific items) を用いて、そのようなインディケーターズ作成の試験的な試みを進めているところである。

V ドイツと日本の国際比較のための準備作業

宗教の「道徳心をめぐる価値観」と「家族をめぐる価値観」に対する影響という問題を、実証的に分析するためには、以上のような理論的考察を踏まえて、つぎにどのような作業が具体的に必要となるであろうか。

それは、いうまでもなく、理論的な仮説を検証するためのデータ・セットの準備という作業である。ここで、データ・セットの準備という場合、まずつぎの二つの検討課題から始めなければならない。

1. どのような質問紙調査 (questionnaire survey) のデータ・セットを準備するかということである。ここではドイツと日本の比較ということがねらいとなっているので、いうまでもなく、国際比較の調査データでなければならない。

現在、質問紙調査法 (questionnaire method) によって実施されている多数の国ぐにを対象とする大規模な国際比較調査 (large scale multinational surveys) の双壁として、米国ミシガン大学の Ronald Inglehart が主宰する「世界価値観調査 (World Values Survey=WVS)」とともに、世界の——といってもヨーロッパの国ぐにが多数を占める——30数カ国が参加している「国際社会調査プログラム (International Social Survey Programme=ISSP)」をあげることに異議を唱える者はいないであろう。

前者のWVSは、R. Inglehartが広く各国の研究機関・調査機関の協力を得て行ってきたもので

あり、1981年、1990年、1995年と調査はすでに三回実施され、現在は1999年—2000年の第四回目の実査が各国で進められている。これまで世界の60カ国(地域)以上を対象に調査がなされてきた。

後者のISSPは、もともとドイツ・マンハイムの「世論調査の方法と分析のための研究センター (ZUMA)」が二年に一回行なっている一般社会調査 (ALLBUS) と米国シカゴ大学の「全国世論調査研究センター (NORC)」が毎年行なっている総合社会調査 (GSS) の二つのプロジェクトが中心となり、そこに各国の大学・研究所・調査機関などが加わり、1984年に設立された国際比較調査プログラムである。

日本とのかかわり合いについては、まず前者については(財)余暇開発センターが1981年度の調査から、そして(株)電通総研と(財)余暇開発センターが共同で1990年度の調査から参画している。つぎに後者については、NHK(放送文化研究所・世論調査部)が1992年度から正式のメンバーとして参加している。

じつは、以上のような国際比較調査プロジェクトでの出会いが契機となって、今回の真鍋とJagodzinski教授との「家族と宗教をめぐる国際比較」のプロジェクトも始められることになったのである。こうして、ここでは、この世界的な二大調査のデータ・セットの活用を試みるのである。

2. データ・セットという場合、それは具体的にどのようなものかということである。

それは、一般に、

①質問紙(調査票: questionnaire)、

②コード・ブック (code book)、

③素データ (raw data)、

の三点セットからなる。

今回の作業では、WVS (1990年度) とISSP (1998年度のReligionのModule) の二種類の調査について、それぞれこの三点セットを準備した。

以下においては、これらの作業の副産物である。ISSP Religion ModuleのMaster Language QuestionnaireとTarget (Japanese) Language Questionnaire (日本語調査票から真鍋がliteral translationを行ったもの)との比較を付録として

掲載しておきたい。ISSPでは、Master Questionnaireが、それぞれの調査対象国に適合するようにそれぞれの言語に翻訳されているが、それにしてもこの結果から見るかぎり、両者にはかなり大きな違いがあるといわなければならない。ここから翻訳の等価性の検討が大きな課題として浮び上がってくるのである。

〈付記〉

今回の共同研究は、関西学院大学（特別研究費）と、ドイツ・ケルン大学と、(株)日本リサーチ・センターからの研究助成にもとづいてなされたものである。(株)日本リサーチ・センター取締役調査研究本部長の飯嶋建治氏には、いつも暖かいご支援をいただいている。また今回の共同研究も、ドイツ・ボン大学への客員教授としての招聘ということがあって、はじめて可能になったものといわなければならない。その意味でボン大学教授・近現代日本研究センター所長の Josef Kreiner 先生には筆舌に尽くしがたいご厚情をいただいた。さらに、ボン大学への招聘が東京財団の「教員海外派遣プログラム」によって財政的に支援されたものであることも記しておかなければならない。とくに Ellen Mashiko さん、小田早苗さん、内田晴子さんには大変お世話になった。これらすべての方々、関係機関に対し、改めて心から感謝の意を表したい。

1998 ISSP Religion Module の Master Questionnaire と Japanese Questionnaire の比較

	Master Questionnaire	Japanese Questionnaire
Q1 (V4)	1 Very happy 2 Fairly happy 3 Not very happy 4 Not at all happy 8 Can't choose	1 Very happy 2 Somewhat happy 3 Not so happy 4 Not at all happy 8 I don't know
Q2	On the whole, do you think it should or should not be the government's responsibility to ...	Do you think it is or it is not the government's responsibility to ...
A (V5)	1 Definitely should be 2 Probably should be 3 Probably should not be 4 Definitely should not be 8 Can't choose	1 It is 2 Rather it is 3 Rather (it is) not 4 It is not 8 I don't know
B (V6)	1 Definitely should be 2 Probably should be 3 Probably should not be 4 Definitely should not be 8 Can't choose	1 It is 2 Rather it is 3 Rather (it is) not 4 It is not 8 I don't know
Q3 (V7)	1 Always wrong 2 Almost always wrong 3 Wrong only sometimes 4 Not wrong at all 8 Can't choose	1 Absolutely wrong 2 Somewhat wrong 3 Not so wrong 4 Not wrong at all 8 I don't know
Q4 (V8)	1 Always wrong 2 Almost always wrong 3 Wrong only sometimes 4 Not wrong at all 8 Can't choose	1 Absolutely wrong 2 Somewhat wrong 3 Not so wrong 4 Not wrong at all 8 I don't know
Q5 (V9)	And what about sexual relations between two adults of the same sex, is it ...	And what about sexual relations between two persons of the same sex, is it ...
	1 Always wrong 2 Almost always wrong 3 Wrong only sometimes 4 Not wrong at all 8 Can't choose	1 Absolutely wrong 2 Somewhat wrong 3 Not so wrong 4 Not wrong at all 8 I don't know
Q6	Do you personally think it is wrong or not wrong for a woman to have an abortion ...	What do you think about an abortion?
A (V10)	1 Always wrong 2 Almost always wrong 3 Wrong only sometimes 4 Not wrong at all 8 Can't choose	1 Absolutely wrong 2 Somewhat wrong 3 Not so wrong 4 Not wrong at all 8 I don't know
Q6 B (V11)	If the family has a very low income and cannot afford any more children	If the family has a very low income and cannot raise children
	1 Always wrong 2 Almost always wrong 3 Wrong only sometimes 4 Not wrong at all 8 Can't choose	1 Absolutely wrong 2 Somewhat wrong 3 Not so wrong 4 Not wrong at all 8 I don't know
Q7	Do you agree or disagree ...	Do you think yes or no ...
A (V12)	1 Strongly agree 2 Agree	1 I think so 2 Rather I think so

	3 Neither agree nor disagree 4 Disagree 5 Strongly disagree 8 Can't choose	3 Can't say one way or the other 4 Rather I don't think so 5 I don't think so 8 I don't know
B (V13)	1 Strongly agree 2 Agree 3 Neither agree nor disagree 4 Disagree 5 Strongly disagree 8 Can't choose	1 I think so 2 Rather I think so 3 Can't say one way or the other 4 Rather I don't think so 5 I don't think so 8 I don't know
Q8	Do you agree or disagree ...	Do you think yes or no ...
A (V14)	1 Strongly agree 2 Agree 3 Neither agree nor disagree 4 Disagree 5 Strongly disagree 8 Can't choose	1 I think so 2 Rather I think so 3 Can't say one way or the other 4 Rather I don't think so 5 I don't think so 8 I don't know
B (V15)	1 Strongly agree 2 Agree 3 Neither agree nor disagree 4 Disagree 5 Strongly disagree 8 Can't choose	1 I think so 2 Rather I think so 3 Can't say one way or the other 4 Rather I don't think so 5 I don't think so 8 I don't know
Q9	Consider the situation listed below. Do you feel it is wrong or not wrong if ...	What do you think about the following ...
A (V16)	1 Not wrong 2 A bit wrong 3 Wrong 4 Seriously wrong 8 Can't choose	1 Not wrong 2 A bit wrong 3 Quite wrong 4 Seriously wrong 8 I don't know
B (V17)	1 Not wrong 2 A bit wrong 3 Wrong 4 Seriously wrong 8 Can't choose	1 Not wrong 2 A bit wrong 3 Quite wrong 4 Seriously wrong 8 I don't know
Q10 (V18)	How often do you think that people would try to take advantage of you if they got the chance and how often would they try to be fair?	Do you think that people would try to take advantage of you if they got the chance or that they would not try to do so?
	1 Try to take advantage almost of the time 2 Try to take advantage most of the time 3 Try to be fair most of the time 4 Try to be fair almost of the time 8 Can't choose	1 Try to take advantage always of the time 2 Try to take advantage most of the time 3 Don't try to take advantage most of the time 4 Don't try to take advantage always of the time 8 I don't know
Q11 A (V19)	Generally speaking, would you say that people can be trusted or that you can't be too careful in dealing with people?	Would you say that people can be trusted or that you can't be too careful in dealing with people?
	1 People can almost always be trusted 2 People can usually be trusted 3 You usually can't be too careful in dealing with people 4 You almost always can't be too	1 People can always be trusted 2 People can be trusted in most cases 3 You better be careful in dealing with people in most cases

	careful in dealing with people 8 Can't choose	4 You always better be careful in dealing with people 8 I don't know
Q12 A (V20)	1 Complete confidence 2 A great deal of confidence 3 Some confidence 4 Very little confidence 5 No confidence at all 8 Can't choose	1 A great deal of confidence 2 Quite a lot of confidence 3 Some confidence 4 Not very much confidence 5 No confidence at all 8 I don't know
Q12 B (V21)	1 Complete confidence 2 A great deal of confidence 3 Some confidence 4 Very little confidence 5 No confidence at all 8 Can't choose	1 A great deal of confidence 2 Quite a lot of confidence 3 Some confidence 4 Not very much confidence 5 No confidence at all 8 I don't know
Q12 C (V22)	Churches and religious organizations	Temples, Shrines, Churches, and religious organizations
	1 Complete confidence 2 A great deal of confidence 3 Some confidence 4 Very little confidence 5 No confidence at all 8 Can't choose	1 A great deal of confidence 2 Quite a lot of confidence 3 Some confidence 4 Not very much confidence 5 No confidence at all 8 I don't know
Q12 D (V23)	1 Complete confidence 2 A great deal of confidence 3 Some confidence 4 Very little confidence 5 No confidence at all 8 Can't choose	1 A great deal of confidence 2 Quite a lot of confidence 3 Some confidence 4 Not very much confidence 5 No confidence at all 8 I don't know
Q12 E (V24)	1 Complete confidence 2 A great deal of confidence 3 Some confidence 4 Very little confidence 5 No confidence at all 8 Can't choose	1 A great deal of confidence 2 Quite a lot of confidence 3 Some confidence 4 Not very much confidence 5 No confidence at all 8 I don't know
Q13	How much do you agree or disagree with each of the following ...	Do you think yes or no ...
A (V25)	1 Strongly agree 2 Agree 3 Neither agree nor disagree 4 Disagree 5 Strongly disagree 8 Can't choose	1 I think so 2 Rather I think so 3 Can't say one way or the other 4 Rather I don't think so 5 I don't think so 8 I don't know
B (V26)	1 Strongly agree 2 Agree 3 Neither agree nor disagree 4 Disagree 5 Strongly disagree 8 Can't choose	1 I think so 2 Rather I think so 3 Can't say one way or the other 4 Rather I don't think so 5 I don't think so 8 I don't know
Q14	Please consider the following statements and tell me whether you agree or disagree ...	Please consider the following opinion and tell me what you think ...
A (V27)	1 Strongly agree 2 Agree 3 Neither agree nor disagree 4 Disagree 5 Strongly disagree 8 Can't choose	1 I think so 2 Rather I think so 3 Can't say one way or the other 4 Rather I don't think so 5 I don't think so 8 I don't know
B (V28)	We trust too much in science and	We trust too much in science and

	not enough in religious faith	lack in religious faith
	1 Strongly agree 2 Agree 3 Neither agree nor disagree 4 Disagree 5 Strongly disagree 8 Can't choose	1 I think so 2 Rather I think so 3 Can't say one way or the other 4 Rather I don't think so 5 I don't think so 8 I don't know
Q15	And do you agree or disagree with the following statements?	What do you think about the following opinion?
A (V29)	1 Strongly agree 2 Agree 3 Neither agree nor disagree 4 Disagree 5 Strongly disagree 8 Can't choose	1 I think so 2 Rather I think so 3 Can't say one way or the other 4 Rather I don't think so 5 I don't think so 8 I don't know
B (V30)	1 Strongly agree 2 Agree 3 Neither agree nor disagree 4 Disagree 5 Strongly disagree 8 Can't choose	1 I think so 2 Rather I think so 3 Can't say one way or the other 4 Rather I don't think so 5 I don't think so 8 I don't know
C (V31)	[Britain] would be a better country if religion had less influence	Japan would be a better country if religion had less influence
	1 Strongly agree 2 Agree 3 Neither agree nor disagree 4 Disagree 5 Strongly disagree 8 Can't choose	1 I think so 2 Rather I think so 3 Can't say one way or the other 4 Rather I don't think so 5 I don't think so 8 I don't know
Q16 A (V32)	...: Political activities (helping political parties, political movement, election campaigns, etc.)	...: such activities as helping political parties, election campaigns, citizen's movements, etc.
	1 No 2 Yes, once or twice 3 Yes, 3-5 times 4 Yes, 6 ore more times	1 No 2 Once or twice 3 3-5 times 4 6 ore more times
B (V33)	...: Charitable activities (helping the sick, elderly, poor, etc.)	...: such activities as helping the sick, elderly, poor, etc.
	1 No 2 Yes, once or twice 3 Yes, 3-5 times 4 Yes, 6 ore more times	1 No 2 Once or twice 3 3-5 times 4 6 ore more times
C (V34)	...: Religious and church-related activities (helping churches and religious groups)	...: such activities as helping temples, shrines, churches, and religious groups
	1 No 2 Yes, once or twice 3 Yes, 3-5 times 4 Yes, 6 ore more times	1 No 2 Once or twice 3 3-5 times 4 6 ore more times
D (V35)	1 No 2 Yes, once or twice 3 Yes, 3-5 times 4 Yes, 6 ore more times	1 No 2 Once or twice 3 3-5 times 4 6 ore more times
<u>Interviewer instruction:</u>	For example, if you were involved in political campaigning for candidate endorsed by a church or religious group, you would report it under a. political	For example, if you were involved in charitable activities say bazaars, endorsed by a church, you would report it under b. charitable activities and

	activities not under c. religious and church-related activities	not under c. religious and church-related activities
Q17 (V36)	Do you think that churches and religious organizations in this country have too much power or too little power?	Do religious organizations in this country have too much power or too little power?
	1 Far too much power 2 Too much power 3 About the right amount of power 4 Too little power 5 Far too little power 8 Can't choose	1 Too much power 2 Rather much power 3 About the right amount of power 4 Rather little power 5 Too little power 8 I don't know
Q18 (V37)	Please indicate which statement below comes closest to expressing what you believe about God	What do you think about God in these days?
	1 I don't believe in God 2 I don't know whether there is a God and I don't believe there is any way to find out 3 I don't believe in a personal God, but I do believe in a Higher Power of some kind 4 I find myself believing in God some of the time but not at others 5 While I have doubts, I feel that I do believe in God 6 I know God really exists and I have not doubts about it	1 I don't believe in the existence of God 2 I don't know whether there is a God and I don't believe there is any way to find out 3 I don't believe in the existence of God but I do believe in a supernatural power 4 I find myself believing in the existence of God some of the time but not at others 5 Even when I have doubts I do believe in the existence of God 6 I know God really exists and I have not doubts about it
Q19 (V38)	Which best describes your beliefs about God?	Comparing now and then, which best describes your opinion about God?
	1 I don't believe in God now and I never have 2 I don't believe in God now, but I used to 3 I believe in God now, but I didn't used to 4 I believe in God now and I always have 8 Can't choose	1 I don't believe in God now and I never have 2 I don't believe in God now, but I used to 3 I believe in God now, but I didn't used to 4 I believe in God now and I always have 8 I don't know
Q 20	Do you believe in ...	Do you think that the following exists?
A (V39)	1 Yes, definitely 2 Yes, probably 3 No, probably not 4 No, definitely not 8 Can't choose	1 Definitely exists 2 Probably exists 3 Probably does not exist 4 Never exists 8 I don't know
B (V40)	1 Yes, definitely 2 Yes, probably 3 No, probably not 4 No, definitely not 8 Can't choose	1 Definitely exists 2 Probably exists 3 Probably does not exist 4 Never exists 8 I don't know
C (V41)	1 Yes, definitely 2 Yes, probably 3 No, probably not 4 No, definitely not	1 Definitely exists 2 Probably exists 3 Probably does not exist 4 Never exists

	8 Can't choose	8 I don't know
D (V42)	1 Yes, definitely 2 Yes, probably 3 No, probably not 4 No, definitely not 8 Can't choose	1 Definitely exists 2 Probably exists 3 Probably does not exist 4 Never exists 8 I don't know
Q21	Do you agree or disagree with the following?	What do you think about the following?
A (V44)	There is a God who concerns Himself with every human being personally	There is a God for everybody
	1 Strongly agree 2 Agree 3 Neither agree nor disagree 4 Disagree 5 Strongly disagree 8 Can't choose	1 I think so 2 Rather I think so 3 Can't say one way or the other 4 Rather I don't think so 5 I don't think so 8 I don't know
B (V45)	There is little that people can do to change the course of their lives	There is little that people can do to change their fate
	1 Strongly agree 2 Agree 3 Neither agree nor disagree 4 Disagree 5 Strongly disagree 8 Can't choose	1 I think so 2 Rather I think so 3 Can't say one way or the other 4 Rather I don't think so 5 I don't think so 8 I don't know
C (V46)	1 Strongly agree 2 Agree 3 Neither agree nor disagree 4 Disagree 5 Strongly disagree 8 Can't choose	1 I think so 2 Rather I think so 3 Can't say one way or the other 4 Rather I don't think so 5 I don't think so 8 I don't know
D (V47)	In my opinion, life does not serve any purpose	There is no purpose in life
	1 Strongly agree 2 Agree 3 Neither agree nor disagree 4 Disagree 5 Strongly disagree 8 Can't choose	1 I think so 2 Rather I think so 3 Can't say one way or the other 4 Rather I don't think so 5 I don't think so 8 I don't know
E (V48)	1 Strongly agree 2 Agree 3 Neither agree nor disagree 4 Disagree 5 Strongly disagree 8 Can't choose	1 I think so 2 Rather I think so 3 Can't say one way or the other 4 Rather I don't think so 5 I don't think so 8 I don't know
F (V49)	1 Strongly agree 2 Agree 3 Neither agree nor disagree 4 Disagree 5 Strongly disagree 8 Can't choose	1 I think so 2 Rather I think so 3 Can't say one way or the other 4 Rather I don't think so 5 I don't think so 8 I don't know
Q22 (V50)	Has there ever been a turning point in your life when you made a new and personal commitment to religion?	Due to a new and personal commitment to religion there has been a turning point in your life
	1 Yes 2 No	1 Yes 2 No
Q23 A (V51)	What was your mother's religious preference when you were a	What was your mother's religion when you were a child?

	child? 1 Protestant 2 Catholic 3 Jewish 4 Orthodox (such as Greek or Russian Orthodox) 5 Moslem 6 Other (please specify) 7 No religion 8 Don't know	1 Tenday/Shingon Buddhism 2 Jodo/Jodo Shinshu Buddhism 3 Zen Buddhism (Rinzai/Soto sect) 4 Nichiren Buddhism 5 Soka Gakkai Buddhism 6 Rissho Kosei-kai 7 Any other main line of Buddhism 8 Buddhism (denomination not clear) 9 Shinto or Shinto-based religion 10 Christianity or Christian-based religion 11 Other 12 Not sure which religion she belonged to 13 Had no religion 14 Had no mother 98 Don't know
Q23 B (V53)	What was your father's religious preference when you were a child?	What was your father's religion when you were a child?
	1 Protestant 2 Catholic 3 Jewish 4 Orthodox (such as Greek or Russian Orthodox) 5 Moslem 6 Other (please specify) 7 No religion 8 Don't know	1 Tenday/Shingon Buddhism 2 Jodo/Jodo Shinshu Buddhism 3 Zen Buddhism (Rinzai/Soto sect) 4 Nichiren Buddhism 5 Soka Gakkai Buddhism 6 Rissho Kosei-kai 7 Any other main line of Buddhism 8 Buddhism (denomination not clear) 9 Shinto or Shinto-based religion 10 Christianity or Christian-based religion 11 Other 12 Not sure which religion he belonged to 13 Had no religion 14 Had no father 98 Don't know
Q23 C (V55)	What religion, if any, were you raised in?	What was your religion when you were a child?
	1 Protestant 2 Catholic 3 Jewish 4 Orthodox (such as Greek or Russian Orthodox) 5 Moslem 6 Other (please specify) 7 No religion 8 Don't know	1 Tenday/Shingon Buddhism 2 Jodo/Jodo Shinshu Buddhism 3 Zen Buddhism (Rinzai/Soto sect) 4 Nichiren Buddhism 5 Soka Gakkai Buddhism 6 Rissho Kosei-kai 7 Any other main line of Buddhism 8 Buddhism (denomination not clear) 9 Shinto or Shinto-based religion 10 Christianity or Christian-based religion

		11 Other 12 Not sure which religion I belonged to 13 Had no religion 98 Don't know
Q24 A (V57)	What is your husband's/wife's religious preference?	What is your spouse's religion?
	1 Protestant 2 Catholic 3 Jewish 4 Orthodox (such as Greek or Russian Orthodox) 5 Moslem 6 Other (please specify) 7 No religion 8 Don't know	1 Tenday/Shingon Buddhism 2 Jodo/Jodo Shinshu Buddhism 3 Zen Buddhism (Rinzai/Soto sect) 4 Nichiren Buddhism 5 Soka Gakkai Buddhism 6 Rissho Kosei-kai 7 Any other main line of Buddhism 8 Buddhism (denomination not clear) 9 Shinto or Shinto-based religion 10 Christianity or Christian-based religion 11 Other 12 Not sure which religion he/she belongs to 13 Has no religion 14 Had no spouse 98 Don't know
Q24 B (V58)	What is your religious preference?	What is your religion?
	1 Protestant 2 Catholic 3 Jewish 4 Orthodox (such as Greek or Russian Orthodox) 5 Moslem 6 Other (please specify) 7 No religion 8 Don't know	1 Tenday/Shingon Buddhism 2 Jodo/Jodo Shinshu Buddhism 3 Zen Buddhism (Rinzai/Soto sect) 4 Nichiren Buddhism 5 Soka Gakkai Buddhism 6 Rissho Kosei-kai 7 Any other main line of Buddhism 8 Buddhism (denomination not clear) 9 Shinto or Shinto-based religion 10 Christianity or Christian-based religion 11 Other 12 Not sure which religion I belong to 13 Have no religion 98 Don't know
Q25 A (V59)	When you were a child, how often did your mother attend religious services?	When you were a child, how often did your mother attend religious services offered by shrines, temples, or churches?
	1 Never 2 Less than once a year 3 About once or twice a year 4 Several times a year 5 About once a month 6 2-3 times a month 7 Nearly every week 8 Every week	1 Never 2 Less than once a year 3 About once or twice a year 4 Several times a year 5 About once a month 6 2-3 times a month 7 Nearly every week 8 Every week

	9 Several times a week 10 No mother/mother no present 98 Can't say/can't remember	9 Several times a week 10 No mother/mother no present 98 Don't know, don't remember
Q25 B (V60)	When you were a child, how often did your father attend religious services?	When you were a child, how often did your father attend religious services offered by shrines, temples, or churches?
	1 Never 2 Less than once a year 3 About once or twice a year 4 Several times a year 5 About once a month 6 2-3 times a month 7 Nearly every week 8 Every week 9 Several times a week 10 No father/father no present 98 Can't say/can't remember	1 Never 2 Less than once a year 3 About once or twice a year 4 Several times a year 5 About once a month 6 2-3 times a month 7 Nearly every week 8 Every week 9 Several times a week 10 No father/father no present 98 Don't know, don't remember
Q25 C (V61)	And what about when you were around 11 or 12, how often did you attend religious services?	And what about when you were around 11 or 12, how often did you attend religious services offered by shrines, temples, or churches?
	1 Never 2 Less than once a year 3 About once or twice a year 4 Several times a year 5 About once a month 6 2-3 times a month 7 Nearly every week 8 Every week 9 Several times a week 98 Can't say/can't remember	1 Never 2 Less than once a year 3 About once or twice a year 4 Several times a year 5 About once a month 6 2-3 times a month 7 Nearly every week 8 Every week 9 Several times a week 98 Don't know, don't remember
Q26 A (V62)	About how often do you pray?	About how often do you pray to God or to Buddha?
	1 Never 2 Less than once a year 3 About once or twice a year 4 Several times a year 5 About once a month 6 2-3 times a month 7 Nearly every week 8 Every week 9 Several times a week 10 Once a day 11 Several times a day 98 No answer	1 Never 2 Less than once a year 3 About once or twice a year 4 Several times a year 5 About once a month 6 2-3 times a month 7 Nearly every week 8 Every week 9 Several times a week 10 Once a day 11 Several times a day 98 Don't know, don't remember
Q26 B (V63)	How often do you take part in the activities or organizations of a church or place of worship other than attending services?	How often do you take part in the activities or organizations of a shrine, temple, church, or place of worship other than attending services?
	1 Never 2 Less than once a year 3 About once or twice a year 4 Several times a year 5 About once a month 6 2-3 times a month 7 Nearly every week 8 Every week	1 Never 2 Less than once a year 3 About once or twice a year 4 Several times a year 5 About once a month 6 2-3 times a month 7 Nearly every week 8 Every week

	<p>9 Several times a week 10 Once a day 11 Several times a day 98 No answer</p>	<p>9 Several times a week 10 Once a day 11 Several times a day 98 Don't know, don't remember</p>
Q26 C		<p>How often do you attend religious services offered by shrines, temples, and church (other than for hatsu mode, weddings, and funerals)?</p>
		<p>1 Never 2 Less than once a year 3 About once or twice a year 4 Several times a year 5 About once a month 6 2-3 times a month 7 Nearly every week 8 Every week 9 Several times a week 10 Once a day 11 Several times a day 98 Don't know, don't remember</p>
Q27 (V64)	<p>Would you describe yourself as ...</p>	<p>Do you have religious faith or not?</p>
	<p>1 Extremely religious 2 Very religious 3 Somewhat religious 4 Neither religious nor non-religious 5 Somewhat non-religious 6 Very non-religious 7 Extremely non-religious 98 Can't choose</p>	<p>1 A great deal 2 Quite a lot religious 3 Somewhat religious 4 Neither religious nor non-religious 5 Not so much religious 6 A little religious 7 Not at all religious 98 I don't know</p>
Q28 (V65)	<p>Which of the following statements come closest to your own views:</p>	<p>What do you think about religion?</p>
	<p>1 There is very little truth in any religion 2 There are basic truths in many religions 3 There is truth only in one religion 98 Can't choose</p>	<p>1 There is no truth in any religion 2 There are truths in many religions 3 There is truth only in one religion 98 I don't know</p>
Q29 A (V66)	<p>Which statement comes closest to your belief about what your friend has a right to expect from you?</p>	<p>Which of the following comes closest to your thought about what your friend is expecting from you to say to his advantage?</p>
	<p>1 My friend has a DEFINITE right as a friend to expect me to testify that he was obeying the speed limit 2 My friend has SOME right as a friend to expect me to testify that he was obeying the speed limit 3 My friend has NO right as a friend to expect me to testify that he was obeying the speed limit 8 Can't choose</p>	<p>1 It is natural 2 Rather it is natural 3 It is not natural 8 I don't know</p>
B (V67)	<p>What would you do in this</p>	<p>What do you think to do in this</p>

	situation?	situation?
	1 Definitely tell the police that your friend WAS going faster than the speed limit 2 Probably tell the police that your friend WAS going faster than the speed limit 3 Probably tell the police that your friend WAS NOT going faster than the speed limit. 4 Definitely tell the police that your friend WAS NOT going faster than the speed limit 8 Can't choose	1 Definitely tell the police that your friend WAS going faster than the speed limit 2 Probably tell the police that your friend WAS going faster than the speed limit 3 Probably tell the police that your friend WAS NOT going faster than the speed limit. 4 Definitely tell the police that your friend WAS NOT going faster than the speed limit 8 I don't know

Religion and Family Values: A Comparative Study of Japan and Germany

ABSTRACT

This paper is an interim report of our comparative and collaborative research on the relationship between religion and family values in Japan and Germany. The report is based upon a secondary analysis of large scale multi-national survey data, i. e. the World Values Survey 1995 and the ISSP (International Social Survey Programme) 1998 Religion Module.

This paper examines religion and religiosity on the one hand, and family values and family-related behavior on the other hand, in both countries. We begin with some theoretical and conceptual considerations based upon an extensive literature survey in this research field. We then describe the dependent variables of our analysis, i. e. family values and family-related behavior from a comparative perspective. Then we turn to the independent variables, i. e. religion, religiosity and religious behavior on the same line. Finally the impact of religion on family values is examined.

Religion in Japan and Germany are so different in terms of their history, structure, and nature that we first describe the country specific aspect of German religion, and then discuss it from a comparative perspective of Japanese religion. Our hypothesis is that religion should be a good predictor of many family values and family-related behavior in Germany, but it should be much less so in Japan.

In the appendix to this paper, the master language questionnaire and the target (Japanese) language questionnaire of the 1998 ISSP Religion Module are compared.

Key Word: religion, moral values, family values